元プロバスケ選手・川面茜さんが蘇陽小で温かい指導！







９月29日、蘇陽小学校体育館で、スポーツ庁委託事業「アスリートの派遣等による体育授業等の充実事業」として、元プロバスケットボール選手の川面茜（かわづらあかね）さんによる特別授業が行われました。

全校児童38名が参加し、「自分の100％を出そう」という呼びかけのもと、学年を越えて意見を出し合いながら、バスケットボールを通じて「自分で考えて行動すること」を体験。先生チームとの試合にも全力で挑みました。

最後に川面さんは「今の縁を大切にし、わくわくすることを一生懸命突き詰めてほしい」「大切な人に『ありがとう』の感謝を言葉にして伝えてほしい」と語りかけ、子供たちの心にたくさんの「気づき」と「感謝の気持ち」が芽生える一日となりました。

通潤橋をグリーンにライトアップしました（グリーンリボンデー）

10月16日の17時から21時まで、「国宝　通潤橋」をグリーンにライトアップしました。

この活動は、臓器提供への理解を促進し、「移植医療」に関する啓発を目的とした全国的活動である「グリーンリボンキャンペーン」の一環で、家族や大切な方と「移植医療」や「いのち」について話し合い、それぞれの臓器提供に関する意思を確認する日である、「10月16日」の「グリーンリボンデー」に実施しました。

この光に、臓器のドナー（提供者）への感謝の意を込めるとともに、移植を待つ方々、移植医療を支える医療関係者への応援のメッセージも込められています。







第55回矢部地区体協対抗ソフトボール大会開催！！





９月17日・18日・25日に第55回矢部地区体協対抗ソフトボール大会開催されました。６チームが参加し、熱戦を繰り広げ、見事浜B体協が優勝しました。

大会結果

優勝：浜Ｂ体協、準優勝：浜Ａ体協

郷土料理の魅力を伝えるお弁当　～肥後やさいのごほうび弁当表敬訪問～

10月15日に肥後やさいのごほうび弁当の完成報告を兼ねた表敬訪問が、役場本庁でありました。このお弁当は、井上祐子さん（東京都）が、馬見原地区の郷土料理「具酢あえ」から発想を得て考案されたもので、熊本県が主催する「くまモンの食いしん坊弁当」企画で最優秀賞を受賞しました。株式会社ヒライとの連携で商品化され、累計600個以上が販売される人気商品となっています。町長は「懐かしい郷土の味を広く届けていただき感謝している」と喜びを述べられました。お弁当を通じて、郷土料理を次世代へ継承するきっかけが生まれています。







えづけ STOP ！～鳥獣被害防止対策強化月間～

毎年、野生鳥獣による農作物被害が深刻な問題となっており、熊本県では 11 月中旬～ 12 月中旬を「えづけ STOP ！鳥獣被害防止対策強化月間」と定めています。

【野生鳥獣による被害の原因は？】

鳥獣被害は、「野生鳥獣が田畑や集落をエサ場として認識すること」から始まります。具体的には、以下の条件がそろった場所がエサ場となります。

①農作物などの「エサ」

収穫し忘れた農作物や、廃棄された食べ物が田畑や農地に残っていると、それがエサ場になります。

②「ひそみ場」（鳥獣が身を隠せる場所）

草木が生い茂った農地の周辺や、放置された竹藪などは野生鳥獣が隠れられる「ひそみ場」として機能します。

このような条件があると、野生鳥獣は「ここは安全なエサ場だ」と学習してしまい、集落や田畑への侵入が頻繁になります。

【今、特に注意が必要な時期です！】

冬は山の中から食べ物が消える時期です。野生鳥獣、特にイノシシやシカはエサを求めてふもとへ降りてきやすくなります。そのため <u>冬の初めがもっとも「えづけ」が進みやすい期間</u> なのです。この重要なタイミングで、「えづけ STOP ！」の対策を強化し、被害の拡大防止につなげましょう。



問合　林業振興課　☎ 72-1114